

みしな

みんなで いっしょに なかよく **vol.22**

2010.12.5

- 1.男女の人権の尊重
- 2.社会における制度又は慣行についての配慮
- 3.方針の立案及び決定への共同参画
- 4.家庭生活における活動と他の活動の両立
- 5.男女の生涯にわたる健康の確保
- 6.国際社会の動向を踏まえた取り組み



私たちがらしいライフスタイル

お互いの呼び名は「つとさん・レイ子」 子やぎのナツオくん・小夏ちゃん



会津 ^{つとむ} 勉さん ^{やっほ} レイ子さん ご夫妻 (箭坪)

お二人は結婚33年、18年前に県外から移住し、やぎ牧場とやぎの乳製品を扱うカフェ『那須やぎ広場 がらがらどん』を始めて9年目。現在は住まいも牧場に移し、やぎ18頭と犬3匹と暮らしています。

❁ 始めたきっかけは？

【勉さん】妻が36才の時ぜんそくを発症し、当時私がサラリーマンだったので新幹線の駅に近く、妻のために空気のきれいな那須塩原市へ移住しました。単身赴任で博多に居た時、たまたま新聞記事で「徳島県の小さな村がヤギで町おこしをする」「やぎの乳は母乳に近くて肺の機能を高める」とあったのを見て、翌月徳島へ行き話を聞きました。前々から『年をとったら二人で共通の話ができる生活をしていきたい』と考えていたこともあり、3カ月後には会社を辞めて、1年かけて友人達の力借りて牧場をつくりました。

【レイ子さん】老後の話はしていたので会社を辞めることは驚きませんでしたが、カフェを任されたときは、今まで専業主婦だったことや、自分の体調のこともあり、出来るのかとても心配でした。でも今は夫にもヤギにも感謝しています。

❁ 気をつけていることは？

【ご夫妻】やぎの体調や様子で必ずお互いに気がついたことを報告し合っています。

❁ 仕事や家事の分担は？

【レイ子さん】カフェは私、牧場は夫ですね。家事は主に私ですが、昔から掃除は夫がやってくれています。夫は単身赴任をしていたので本当は何でも出来るのですが、料理だけはやらないでもらっています。食材の組み合わせがすごいので(笑)

❁ これからは？

【ご夫妻】ヤギの乳は多くの栄養素を含み、体にとっても良いので、ヤギ乳を広く知ってもらい、多くの皆さんに喜んでもらいたいです。



取材を終えて

レイ子さんは週2回、近くの穴沢小学校で「図書および生活支援員」の活動もされています。勉さんも地域のボランティアとソフトボール等と、忙しくも楽しい毎日を送っておられるそうです。

もくじ	DVチェックリスト……………	P2
	誰もがきらりセミナー ステップアップ編……	P3
	次世代人材づくり事業報告 ……………	P4

あなたとパートナーとの関係には、もしかしたらこんなことはありませんか？ チェックしてみましょう。

DVチェックリスト

●精神的暴力

- 大声で怒鳴る。
- 「バカ、ブス、役立たず」等おとしめる言葉を言い続ける。
- 何を言っても無視し続ける。
- 生活上必要な異性との関わりにすら浮気や不貞を疑う。
- 自分の浮気話を聞かせる。
- 「別れるなら死んでやる」と脅す。
- 「おまえが怒らせたからだ」と暴力の原因を相手のせいにする。
- 理由をつけて暴力を正当化する。
- 相手の態度が気に入らないと、子どもに当り散らしたり、大事にしているペットをいじめたり物を壊したりする。

●経済的暴力

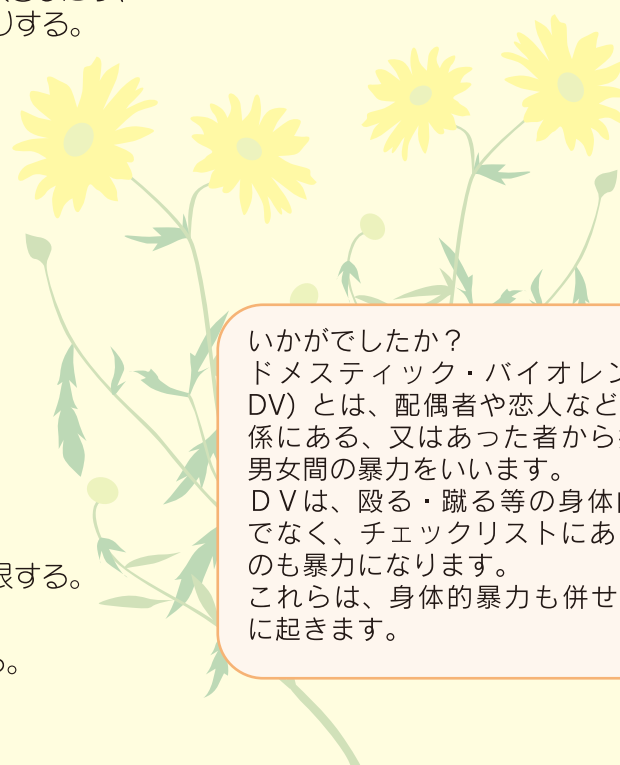
- 収入、貯蓄、借金等の経済状況を明かさない。
- 「誰のおかげで食べられるんだ」と言う。
- 必要なお金を渡さない。

●性的暴力

- 性行為を強要する。
- ポルノ雑誌・ビデオを見ることを強要する。
- 避妊に協力しない。

●社会的暴力

- 交友関係、電話、所持品、郵便物等を監視・制限する。
- 働くことや社会参加を妨害する。
- いちいち許可を求めさせたり報告させたりする。



いかがでしたか？

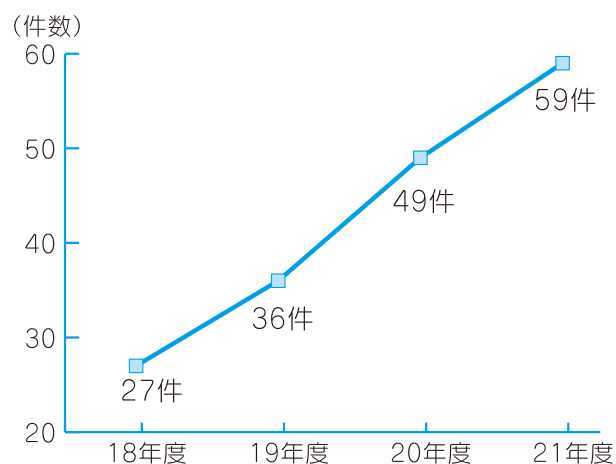
ドメスティック・バイオレンス（以下DV）とは、配偶者や恋人など、親密な関係にある、又はあった者から振るわれる男女間の暴力をいいます。

DVは、殴る・蹴る等の身体的暴力だけでなく、チェックリストにあるようなものも暴力になります。

これらは、身体的暴力も併せて、複合的に起きます。

那須塩原市の現状

相談件数推移グラフ



本市のDV相談件数は、年々増加しています。相談に対して、20年度は延べ284回、21年度は268回の相談者との関わりがありました。

内閣府男女共同参画局によると、平成21年度の全国の配偶者暴力相談支援センターで受けたDVに関する相談は、全国で72,792件、栃木県では1,590件の相談がありました。

配偶者暴力防止法においては、被害者を女性には限定していませんが、配偶者からの暴力の被害は、多くの場合女性です。パートナーからの暴力は、人権を著しく侵害する重大な問題です。

相談件数や調査結果等から、少数の人だけが被害を受けているのではなく、多くの人が被害を受けていることが分かります。男女が社会の対等なパートナーとして様々な分野で活躍するためには、その前提として、DVは絶対にあってはならないことなのです。

DVは犯罪です。まずは相談を！

- 那須塩原市子ども課
☎0287-62-7138
(月～金 9時～16時)
- 婦人相談所
☎028-622-8644
(月～金 9時～20時)
- 認定NPO法人ウィメンズハウスとちぎ
☎028-621-9993
(月～金 10時～16時)
- パルティ相談室【とちぎ男女共同参画センター】
☎028-665-7714
(火～日 9時～16時、第2水曜日は正午まで)
- 栃木県警察本部 県民相談室
☎028-627-9110

一人で悩んでいませんか？

パートナーといると、怖いと感じたり緊張したりしていませんか？暴力は次第にエスカレートして、被害が深刻になることがあります。安全な生活を確保するためには、早めの相談が問題解決の第一歩です。

被害を受けている方からの要望ごとに、支援の方法や必要な情報、専門的な機関などを紹介しています。いろいろな情報の中からあなた自身が選んだ道をサポートしてくれる機関が見つかるでしょう。

パートナーとの関係を「つらい」「なにかおかしい」と感じているなら、一度ご相談ください。

※例

- 加害者から逃れたい
→一時保護をする施設があります。
- 加害者が近寄ってこないようにしたい
→加害者が被害者に近づくことを法的に禁止することができます(保護命令)。
- 新しい生活を始めたい
→パートナーからの暴力から逃れて、自立した生活を始めるために、様々な機関が支援を行ないます。就業の促進、住宅の確保、援護などの自立支援があります。

誰もがまらりセミナー ステップアップ編

ホップ♪
ステップ♪
ジャ〜ン♪!!

誰かに必要とされる あなたになる

誰もが、いきいきと輝ける社会を目指して女性も男性もさらに自分を磨くための講座です。「自分力を発揮するワザ」を身につけませんか？

回	開催日	テ - マ	講 師 / 会 場
1	1/22(土) 13:00～ 16:00	お互いを大切にしよう 関係づくりにおいて重要なこと	講師：秦野 玲子氏 RE Learning (リラーニング)代表
2	2/6(日) 13:00～ 16:00	自分力ってなに	会場：西那須野公民館 会議室3・4
3	2/20(日) 13:00～ 16:00	自分力を発揮する方法 を学ぶ	

※3回シリーズとなりますので、続けての受講をお願いいたします。

各回定員：40名 受講料：無料

対 象：入門編セミナー修了者、パルティ等の基礎コース修了者

申込締切：平成23年1月14日(金) 【定員になり次第締切】

保 育：受講する間、満1歳から小学3年生までのお子さんを保育することもできます。

保育締切：①1月7日(金) ②1月24日(月) ③2月7日(月)

申込み、問い合わせ先：市民協働推進課 男女共同参画係

☎0287-62-7019

勃発！…かたや？!



作：ゆうこりん 絵：Daisuke

～フランス共和国を訪ねて～

かいせけいこ ぼうきょう
貝瀬恵子さん (方京)

栃木県では、国際的視野を持ち、地域で活躍する青年リーダー及び女性リーダーの育成を目指し、国内および海外研修をしています。

今年の海外研修は、フランス共和国のパリ市とヴォークリューズ県アヴィニオン市に行って参りました(10月7～13日)。ヴォークリューズ県は、栃木県と友好交流を行っています。今回は、フランスにおける男女共同参画や高齢者医療、教育制度について各施設を訪問し、それぞれの抱える課題やその解決に向けた取り組みについて研修してきました。

仕事でも、家庭でも、平等

ウーベルティヌ・アークレール・センター(パリ市)

性別による不平等や差別撤廃の必要性を求め活動している組織や団体への、教育、指導、情報提供を活動理念として設立された民間のリソースセンターです。これらの組織や団体と提携し、企業に対し、男女平等に向けたプログラムを提供するほか、教育の場における啓発活動等を行なっています。

働く女性が安心して育児ができる環境づくりについての様々な取り組みは、学ぶことが多く、国の制度整備に加え、企業側の意識改革により男性が育児参加しやすい環境整備も必要であると強く感じました。

リル・スラ・ソルグ公立病院(ヴォークリューズ県)

歴史ある文化遺産である修道院跡を利用した公立の高齢者病院です。こちらでも医師不足が生じているそうですが、スタッフからは、保存や補修と折り合いながら、地域の病院としてプライバシーを守り、ディサービスやショートステイを運営していく苦勞と誇りと喜びが感じられました。

アコール語学学校(パリ市)

ここは、フランス語を学ぶ外国人のための語学学校で、生徒は世界各国から集まり日本人も多く在学しています。教科書を使用せず演劇を通じて日常会話を学ぶなど特色ある指導法を採っており、生きた語学力を身につけることができます。フランスの教育制度についても学ぶことができ、日本の教育制度との様々な違いを知ることが出来ました。

ホームステイ交流

ホストファミリーは、フランス語を話せない私たちも温かく歓迎してくれました。古代ギリシャまで遡る歴史と数々の文化遺産に触れると同時に、マーケットや友人宅への訪問など、実生活を体験することも出来、お互いの国を紹介しながら楽しい交流の機会をいただきました。

国内研修・海外研修を通じて、女性リーダー部門の皆さんとグループのテーマを話し込んでいく中で男女共同参画を勉強し、自分と子育て、社会環境、平等とは等、日々の生活をかえりみる機会となりました。素晴らしい経験をさせていただく機会に恵まれたことに感謝し、今後の地域活動に生かしていきたいと思えます。

編集後記

時代の流れなのだろうか。日々生活をしている中で、他人への気配りの出来ない人が多くなった気がする。悶々と生活をする中、職場で言われた「ありがとうございます」という言葉に癒された。なんて素敵な言葉なんだ。
『こちらこそ、どうもありがとう』と自然に笑顔で返せた自分がいた。



アークレール・センター



貝瀬さん
ホストファミリーと



研修の様子

お知らせ 生涯学習振興大会

と き：12月25日(土)

午後1時から

ところ：黒磯文化会館

内 容：

- 体験発表
(次世代人材づくり事業参加者発表も行なわれます)
- 基調講演
「『聴くこと』からはじまるまちづくり」
講師：佐々木英和 氏



編 集／みいな編集委員会 発 行／那須塩原市企画部市民協働推進課
編集委員／上野 宏美、左近 剛、柴 セツ子、手塚 祐子、濱口 三江、平井 あけみ
〒325-8501 那須塩原市共壘社 108 番地 2 TEL.0287-62-7019
mail: kyoudousuishin@city.nasushiobara.lg.jp